

感染状況・医療提供体制の分析(11月23日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (11月16日時点)	現在の数値 (11月23日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	8407人 (447.9人)	9733人 (518.6人)	→	レベル4. 感染が拡大しており特別な警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり519人</u> 。医療機関・高齢者施設等でのクラスターが多い。新規陽性者数は、全国的に緩徐だが増加傾向。社会経済活動の活発化により、今後も感染者数は増加傾向が予想される。季節性インフルエンザも一部地域で増加傾向。基本的感染対策の継続と同時流行を見据えたオミクロン株対応ワクチンと季節性インフルエンザワクチンの接種を。
		60歳以上 (総数に占める割合)	1428人 (17%)	1694人 (17%)	→	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	3300人	3428人	→	
		倉敷市保健所	1805人	2152人	→	
		備前保健所	800人	779人	→	
		備中保健所	935人	1141人	→	
		備北保健所	350人	325人	↘	
		真庭保健所	313人	429人	→	
		美作保健所	612人	1140人	→	
		その他	292人	339人	→	
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	191人 (32%)	247人 (41%)	→	レベル3. 体制が逼迫しつつあると思われる	
	④宿泊療養者数	82人	119人	→	感染者増加を受け、入院患者数や自宅・宿泊療養者数は増加。通常医療を制限する医療機関も出始め、医療提供体制への負荷が増している。	
	⑤自宅療養者数	7912人	9595人	→		
	⑥重症者数	5人	7人	→		